

## 平成27年度 京都大学オープンキャンパス研修参加報告

報告者：PTA会長 東谷 登

8月6日（木）6時に広島駅に集合。舟入高校4名と国際学院高校の4名とで合同出発式を行い、日浦校長先生の「大学に合格するにはどうするか」ではなく「合格したら自分がどうなるか」を考え大学を見て来てくださいますとの言葉をいただき、奥本教頭先生、大前先生の見送りのもと6：19の新幹線で京都へ。

京都駅に到着後の8：15、コンコースの途中で広島に向かって全員で黙祷。街行く人が足を止めて、一緒に黙祷される方もいらっしゃいました。



タクシーで京都大学に移動。到着後、国際学院高校と別れ舟入高校だけで記念写真撮影。有名な時計台と大学のシンボルとなっている大きな楠木を見て、一同感激していました。



大学は広く、各学部が離れて点在しているため生徒たちは移動が大変そうでした。校舎は近代的な建物とレンガ調の建物が融合しており、中には博物館もあれば最新鋭の設備がありと色々驚かせられました。また、学ぶために様々な工夫がされていると感じました。



生徒たちは講演会や授業に参加したり、自分の希望する学部の講義を聞いたり、また実際に実験に参加する生徒もいて、舟入高校生徒の積極的な行動に感心しました。

16：00楠木の前に集合の後、京大OBとの懇談のため「駿台京都校」へ移動。駿台では基町高校と合同での懇談で、約40名集まりました。

まず、OBの方に自己紹介と京大を志望した理由、後輩たちに望むこと等を発表していたとき、各部に別れてOBに自分の聞きたいこと、不安に思っていること、勉強の仕方、苦手な科目を克服する方法、大学での生活等々時間いっぱいまで質問していました。舟入高校のOBは6名参加されていましたが、高校生活中はクラブを一生懸命行い、全員塾には行かず授業を真剣に聞いていたと言われ、私も生徒も感心してしまいました。



OBとの懇談後、京都駅19：10の新幹線で一路広島へ。少し疲れた様子でしたが、感想文作成や自習、先生と会話したりと思いつきに過ごし、20：52広島着。

校長先生，教頭先生，大前先生のお迎えのもと，それぞれ新たな決意をもって家路につきました。

生徒たちは，オープンキャンパスに参加し，どの様な大学なのか，環境は，設備は等，多くを知ることができましたが，やはり OB との懇談が一番心に残り，またモチベーションも高くなったようです。今後もこのような現役 OB の生の声が聴ける機会は必要であり，出来るだけ多くの生徒に参加していただきたいと思います。

#### 生徒の感想より

- ・「大学は答えのない問題を考えるところなので，周囲に優秀な人が沢山いることは他の大学より有利である」この言葉に感動し，一番納得した。
- ・トップクラスの大学は，やはりオーラがちがう。これは訪れた人にしかわからない。
- ・自分の目標の具体的なイメージを持っていなかった。今回自分を刺激し，具体的なイメージをつかんだことは良い機会だった。
- ・「京大は自由である。でもそれは責任をとる自由である。やりたいことはとことん追求出来る。ただそのために書く力，聞く力など基礎的な力を求められる」OB の言葉に、改めて高校授業の大切さを知った。

